

第3回 南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 概要

日 時：平成28年2月3日（水）午後4時～

場 所：南風原町役場3階 庁議室

出席者：金城宏孝、大城恵美、久田友次郎、島袋隆志、瑞慶覧俊也、嶋袋悦子、仲村至弘、平良尚正、戸恒慎司

1. 開会

2. 諮問

町長から島袋会長へ諮問

- ・町長あいさつ
- ・会長あいさつ

3. 議事

1) 南風原町人口ビジョン（素案）について

2) 南風原町まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について

- ・事務局より素案の説明
- ・委員からの意見等

委員：策定方針においては、国と同様に4項目が示されていたが、基本目標で人の流れが入っていない理由は。年少人口は、グラフを見ても増えていない。長期的に2.09という出生率を維持できるか。

⇒事務局：本町の実態に即した基本目標を設定している。子育て支援や雇用の創出を図る中で、おのずと社会動態が増加傾向になるものと捉えている。

委員：「創業支援」という内容も必要ではないか。健康づくりと連携したフィットネスなどのヘルスケアビジネスなどにも対応できる表現があってもよいと思う。

委員：A3の資料をみると具体的な取り組みとKPIが繋がっていないように見える。子どもが安定的に生まれたとしても、成長後、働く場がないと地域は活力がなくなる。働く場がないことで過疎化する地域も多い。地域に誇りを持てるようにすること。また子育て、働く場、プライベートを楽しく過ごせる場が必要。

・公共交通の整備については、年齢などを含め利用者ニーズの把握が必要ではないか。与那原・西原方面へのバスは現在もある。南風原町にバスの結節点（ターミナル機能）を構えるなども検討できるのでは。

⇒事務局：交通利便性の向上を目指し、今後幅広く検討していきたい。

委員：認可外施設は町内に何力所あるのか。待機児童解消はいつ頃を予定しているのか。

⇒事務局：認可外の数を確認して報告するが、先日2園の認可化に向けた審査会が実施された。待機児童は平成29年度までに解消するとして目標を掲げている。

委員：戦略に定めた施策を実行する人の配置が重要。人をどう育てるのか、人材をどう確保するのが問われてくる。

委員：取り組みの途中経過、進捗を確認していくことと、南風原町の魅力をアピールすることも必要ではないか。町内だけでなく町外に向けたアピールも。

⇒事務局：PDCAの手法に基づき取り組んでいく次第であり、その旨も記述していきたい。

委員：比較対象が無いので内容の判断がしづらい。他の事例があれば教えて頂きたい。

・若い人が住んでくれないと活力の維持は難しい。若い世代を住まわせるイメージアップの展開を考えてはどうか。

・雇用創出については、難しいかと思うが〇〇を誘致するなど、行政の姿勢を町民に分かりやすく、具体的に示すことはできないか。

委員：災害や防災対応がとても重要になると感じている。保険など個人で対応できる部分以外、町として人の命を守る取り組みが優先的に必要ではないか。

⇒事務局：自主防災組織数の目標値を述べ5団体としているが、まずは自治会単位での組織づくりが必要ではないかと考えている。

委員：高齢化が進むと思うが、人口構成からみて若い世代も必要。町出身のこども世代（次男、三男）が住みたくても土地がないという話を聞く。戸建てを欲しいというニーズへの対応も必要。

・アンケートのまちの課題であげられている、道路交通、公園や図書館の整備を盛り込む必要があるのでは。

⇒事務局：総合戦略ではソフト事業が前面に出る。但し、まちの課題を踏まえた取り組みも重要であるため、施策の中の「教育環境の充実」や「住み続けたい地域」で将来につながるよう検討していきたい。ソフト事業の展開に必要なれば、ハード整備の可能性もでてくる。

4. その他

- ・次回日程について（2月17日頃を予定）

5. 閉会

会長：それでは第3回審議会を終了します。